

インフルエンザ流行発生警報が再び発令されました！

～今シーズン2度目の警報発令！～

令和8年第5週(集計期間：令和8年1月26日～令和8年2月1日)に、本市におけるインフルエンザの患者報告数が、流行発生警報基準値である定点当たり30.00人を超えて38.83人となつたため、流行発生警報を再び発令します。

現在、川崎市内においてインフルエンザの大きな流行が発生していますので、インフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりがせきエチケットや手洗い等の予防をすることが重要です。

*本市で実施している感染症発生動向調査では、毎週61施設の急性呼吸器感染症定点医療機関から患者の発生状況を報告いただいているます。

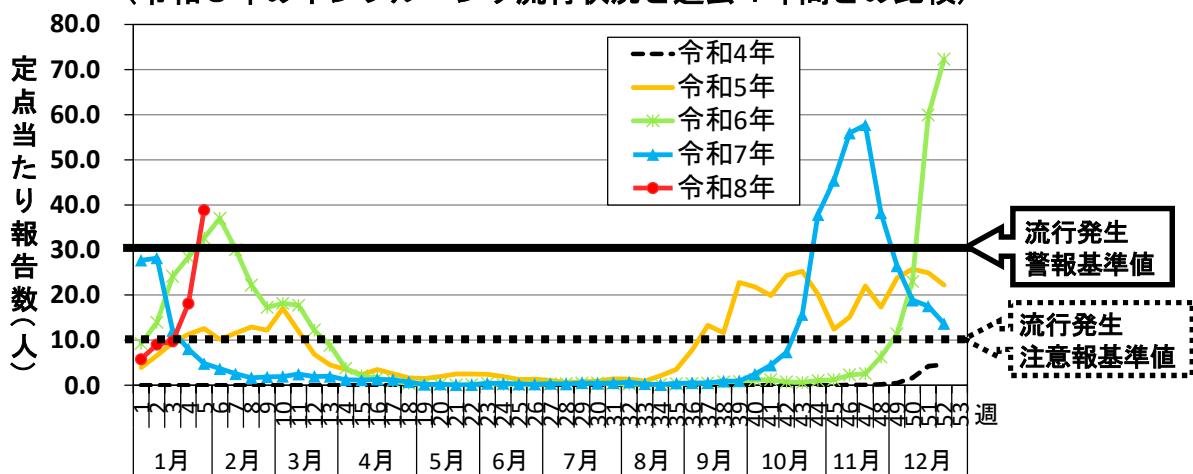
1 本市におけるインフルエンザ流行状況

インフルエンザの定点当たり患者報告数は、令和7年第44週(集計期間：10月27日～11月2日)に流行発生警報基準値である30.00人を超えて37.83人となったことから流行発生警報を発令しました。その後、令和8年第2週(1月5日～1月11日)に流行発生警報終息基準値である10.00人を下回り9.03人になりましたが、令和8年第4週(1月19日～1月25日)に再び10.00人を超えて18.12人となつたため、流行発生注意報を再発令しました。そして、令和8年第5週(1月26日～2月1日)には38.83人となり、再び流行発生警報基準値である30.00人を超えるました。

- ・流行発生注意報¹の基準値(定点当たり10.00人)を直近で超えたのは、令和8年第4週(1月19日～1月25日)の(定点当たり18.12人)でした。
- ・流行発生警報²の基準値を超えて、インフルエンザの大きな流行の発生と継続が予想されます。

*1 今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること。
*2 大きな流行の発生と継続が疑われること。

川崎市内におけるインフルエンザ患者報告数 (令和8年のインフルエンザ流行状況と過去4年間との比較)



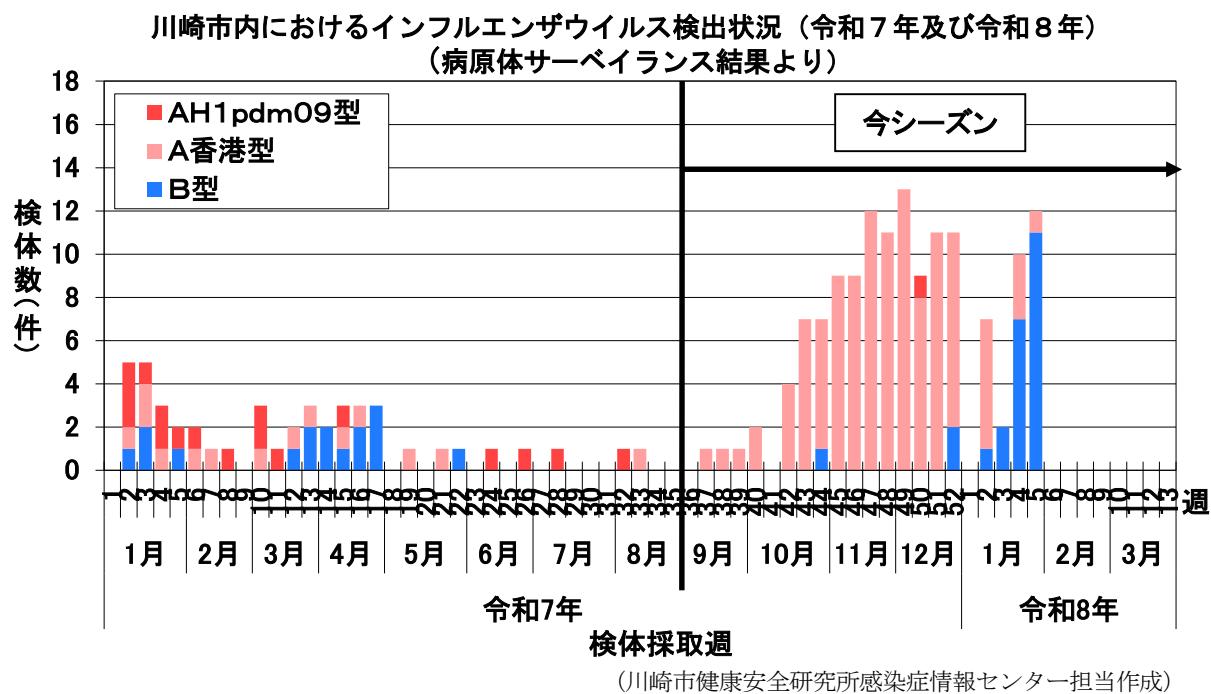
(川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成)

2 本市における今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

感染症発生動向調査では、市内16箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただいて、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っています。

令和7年9月からの今シーズンに健康安全研究所に搬入された検体のうち、138検体からインフルエンザウイルスが検出されており、その内訳はA香港型が113件、AH1pdm09型が1件、B型が23件、A香港型及びB型が1件でした。

※令和8年2月3日結果判明分まで



3 過去のインフルエンザ流行発生警報発令日及び警報基準値超過週

平成29年度：平成30年 1月24日 (平成30年第 3週)

平成30年度：平成31年 1月17日 (平成31年第 2週)

令和5年度：令和6年 2月 6日 (令和6年第 5週)

令和6年度：令和6年12月24日 (令和6年第51週)

令和7年度：令和7年11月 5日 (令和7年第44週)

*平成31年度～令和4年度は警報発令がありませんでした。

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部
感染症対策課 吉川

電話 044-200-2446

ウイルスを撃退して

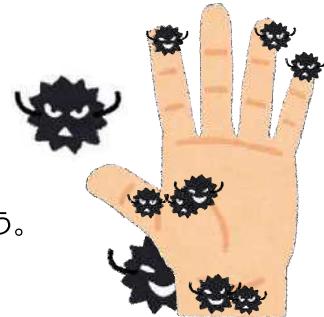
インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザが流行しています。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗いをしましょう

- ◆ ウィルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。
外出したら、必ず石けんで手洗いをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
 - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。
(口だけでなく鼻もおおいましょう)
 - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおいましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹼で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱に捨てましょう。



ワクチン接種を受けましょう

- ◆ インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、まだ受けていない方はできるだけ早い接種をおすすめします。



空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。(湿度50%～60%程度)
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



なるべく人混みは避けましょう

- ◆ インフルエンザが流行してきたら、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。

